

静岡海岸堤防だより『防ぐ！』

平成30年度は海岸堤防嵩上げ工事を150m施工しています

静岡県では、第4次地震被害想定において推計されている被害をできる限り減らすため、「地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定し、津波対策施設の整備を進めています。

静岡海岸では、レベル1津波(※1)に対応できるように「海岸堤防の嵩上げ工事」を行っています。

■静岡海岸の整備状況【中島・西島地区】

写真は平成30年12月に撮影した安倍川左岸河口部の写真ですが、嵩上された堤防(ネズミ色部)の延長が伸びてきています。



場所	延長 (m)	説明
①	718	H30年秋迄の完成
②	150	現在施工中
③		残工事区間

○は海岸掲示板の場所 (ただし③は工事中の為、現在は閲覧不能です)

※1 【レベル1の地震・津波】発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
【レベル2の地震・津波】南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

■静岡海岸 堤防断面【西島地区】



■使いやすい坂路が完成【中島地区】



平成30年10月完成の坂路



以前の坂路

改良した坂路が堤防嵩上げ工事後、初めて完成しました。坂路縦断勾配を8%と以前に比べて緩く、車椅子でも安全に利用できるように配慮しています。
自転車で通行する際は安全の為、降りて通行してください。

■残土の有効利用で工事コスト縮減！

当該工事では、多くの残土が発生します。掘削した結果、砂浜の土質と類似していることが判明したため、**残土を付近の砂浜に敷均してコスト縮減**を図り、限りある予算の中で少しでも工事延長が伸びるよう努力しています。

【残土の有効利用によるメリット】

- ①重機足場材として利用
- ②過去に海岸侵食に悩んでいた静岡海岸では養浜効果
- ③残土処分費等のコスト縮減により、堤防嵩上げ延長100m当たり236万円のコスト縮減



■「事業を継続するのが相当」公共事業再評価の結果

当該事業は、平成24年度から測量等を開始しましたが、事業の効率性、透明性の向上を図るため、平成30年度に静岡県事業評価監視委員会の事業再評価を受け、「事業を継続するのが相当」という委員会の意見により、**事業継続**となりました。

公共事業再評価を行う際、関係者の意見をお聞きする為、地区内で工事を実施している中島浜自治会の19の方にアンケートを実施しました。ご協力、ありがとうございました。「事業継続を要望」の御意見や「見直しを要望」の御意見も含め、早期完成を望む意見が多数でした。今後もさらなるコスト縮減に配慮しながら事業を進めていきたいと思ひます。

関係者の意見アンケート結果

意見	意見数
事業継続を要望	18
見直しを要望	1
事業中止を要望	0

■海岸掲示板をリニューアル！

静岡海岸には6箇所の海岸掲示板があり、「静岡・海辺づくりの会」の皆様のご協力により、生息する動物や植物の紹介をしています。設置して10年が経ち、塩害や経年劣化により掲示板が見づらくなったので、**アクリル板を更新**しました。掲示物は定期的に更新しているので、ぜひご覧ください。



更新後の①の海岸掲示板



更新前の①の海岸掲示板



更新後の①の海岸掲示板の遠景



○は海岸掲示板場所
(①～③の場所については前頁をご覧ください)

静岡県静岡土木事務所

問い合わせ先: 工事第1課 (TEL 054-286-9331)

HP: <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/index.html>

